

# 平成13年度東北海区海況予報 第6号

平成14年2月15日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

## <<今後の見通し(2002年2月~2002年4月)>>

- (1) 近海の黒潮北限位置は、平年並(36°N~36°30'N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の近海の北限位置は平年並の39°N付近にある。
- (3) 襟裳岬南方の暖水塊は停滞する。常磐沖の暖水塊は北西に移動する。  
三陸沖の暖水塊は西に移動する。
- (4) 三陸南部沖の冷水域は南下し、拡大する。
- (5) 親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(40°~40°30'N)で推移する。親潮第2分枝の張り出しは、平年並からやや南偏(39°N付近まで)で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°付近)で推移する。

## 《海況の経過(2001年10月~2001年12月)の特徴》

- ・ 表面水温は、三陸北部から北海道沿岸域で平年より低く推移した。三陸南部以南は、平年並~高めで推移した。
- ・ 近海黒潮は、北偏傾向を強め、北限位置は12月には39°N以北に達した。
- ・ 親潮第1分枝は、平年並(41°N)で推移した。

## 《現況(2002年1月~2月上旬)の特徴》

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並\*。
- (2) 黒潮系暖水の北への張り出しは、近海で平年並。
- (3) 暖水塊が 襟裳岬南方(40°20'N、144°E)に形成された\*。2月に常磐沖に暖水塊(38°N、144°20'E)が形成された。
- (4) 三陸南部沖に冷水域が形成された。
- (5) 親潮第1分枝の先端位置(41°30'N)\*、親潮第2分枝の張り出し(40°30'N)\*は、共に北偏。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°E)\*

注： 現況および今後の見通しは図を参照のこと。

(\* )は人工衛星情報による。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。